

岡山県本部60年記念行事 ありがとうございました！

10月26日に岡山市立中央公民館にて、守る会岡山県本部主催60年記念行事「親たちの想いを受け継いで」を開催しました。当日は、広い会場に100人を超える人たちの参加をいただき大盛況でした。

昨年9月に、事件の中心地であった岡山中で、60年という節目の年に何かをしたいという思いで、被害者有志が集まり実行委員会を発足いたしました。

当初は、親たちが撮りためていた8ミリフィルムを編集して見て頂き、健康懇談会と一緒に岡山の被害者だけで開催する予定でした。京都の全国総会でも、8ミリフィルムを使って開催しますとご案内しましたが、その後8ミリフィルムの使用に難色を示す人が出てきたので、使用を諦め、一から企画を考え直し「森永ひ素ミルク事件の歴史と真実を知り、現在の活動を確立し、将来の健康な生活を考える会」というサブテーマにし続行しました。



DVDの制作のための資料集めと、親御さんへのインタビュー、お世話になった関係者さんへのアンケートなどを開始し、シナリオ作りをみんなで手分けして進めていきました。

DVDのナレーションは、平松邦夫さんの同級生で元アナウンサーの石原みどりさんが快く引き受けて頂き、当日の司会までもボランティアで受けて頂きました。さすがにプロ、シナリオの訂正やストーリーの調整までお手伝いしていただきました。



毎月の実行委員会を12回と、臨時委員会を5回開催して、詳細の打ち合わせと役割を決め、印刷物を作り準備を進めました。告知後は、参加希望者がどんどん増え、当初の会場では入りきれず急きょ会場探しに走り回り、ヒヤヒヤの連続でした。

60年記念行事当日は被害者さん、被害者の親御さん、ご兄弟、多数の他府県の被害者の方々の参加を頂き、岡山に保存している徳島裁判の横断幕や法被、タスキ、ハチマキや当時の新聞の切り抜き、山陽新聞に掲載された写真、岡山協立病院と水島協同病院で行われた「17年目の検診報告書」のオリジナル、事件の歴史年表なども展示して見て頂きました。

岡山県、岡山市、倉敷市などの行政関係者、森永乳業、守る会本部の方々をお迎えしました。行政からは、これからの行政協力の方針についてのお話をお聞きました。

松岡健一先生、一井淳治弁護士からは事件当時の苦労話をお聞きし、この方たちのお力が無かったら現在も被害者はあのままだったかもしれないと思いぞっとしました。

最後に、今後の被害者対応についてひかり協会、岡山県救済対策委員会、相談員の方より話を頂きました。

いずれのお話も熱が入っており、予定時間をオーバーしそうでしたが、最後は早口になりましたが、先生方の思いは十分に伝わりました。



また、この日のために苦労して作ったDVDは、皆さんにとっても好評で、上映終了後には大きな拍手を頂きました。配布用に用意した100枚のDVDも、ほとんど無くなり皆さんよりカンパをたくさん頂きました。

3時間という短い時間でしたが、協力員活動でお誘いし続けて初めて参加してくれた被害者さん、久々にお顔を見せてくれた親御さん、県外から来てくれた被害者さん、60年という時間が過ぎ想いはそれぞれでしょう。しかし親の想いは今も60年前も同じではないでしょうか。

これからも健康でみなさんと笑顔でお会いしたいものです。ありがとうございました。

森永ひ素ミルク中毒の被害者を守る会 岡山県本部

60年記念行事実行委員一同

実行委員長 菅野 孝明

